

令和4年(2022年)度 地域連携活動報告書

連携先名称：日本郵便株式会社

協定締結日：平成30年10月12日

活動状況：継続中

連携先窓口：事業開発推進室デジタルビジネス戦略部 鈴木雄輔氏

活動資金：大学予算

担当教員(所属)：峯 洋子(農学部農学科)

活動体制(単位)：大学

関連教員(所属)：なし

活動目的：

1. 農業及び関連産業の活性化に向けた連携

- ・日本郵便遊休地にビニルハウスを建設し、難易度の高い高糖度トマト生産を、農業未経験者の日本郵便社員でも可能とする砂栽培(トレファーム®)システムにて実証。
- ・糖度8以上の果実を「フルーツトマトさやまる」、それ以外を「さやまるプロジェクトの朝採り完熟トマト」としてブランド化し、様々な販路で販売。

2. 人材育成に関する連携

- ・生産における課題を抽出し、学生の研究テーマとして取り組む。

活動内容・成果：

1. 農業及び関連産業の活性化に向けた連携

- ・2020年よりプロジェクト成果物であるフルーツトマト「さやまる」を日本郵便が販売。
- ・2021年6月「さやまる」がおもてなしセレクション受賞
<https://omotenashinippon.jp/prize/selection/2021/2100-01-064/>
- ・2021年9月 ビニルハウスを7aから20aに増設し、生産量拡大
- ・2023年3月「さやまる」が野菜ソムリエサミット金賞を受賞
<https://www.vege-fru.com/doc/news/23/summit03-2.pdf>

2. 人材育成に関する連携

- ・長野農場での栽培試験における農学科学生の支援活動(2022年9月21日学生2名)



・長野農場にて、栽培に関する指導と共同研究打ち合わせ（2023年3月7日）



課題・改善点：

- ・夏場の品質低下と裂果多発への対策
- ・しおれ直前自動灌水システムの実用化